

●調査の概要

1 調査の目的

横須賀市立小学校及び中学校に在籍する児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、状況を把握する。また、調査結果を集計・分析したものを各学校や各個人へ還元するとともに、横須賀市として必要な健康・体力向上推進に関する施策の策定や、各学校の取り組みの工夫改善に役立てる。

2 調査の対象及び内容

(1) 児童

① 調査対象者

横須賀市立小学校及び特別支援学校小学部の3～6年生全員

② 調査内容

ア 実技に関する調査

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

(2) 生徒

① 調査対象者

横須賀市立中学校及び特別支援学校中学部の1～3年生全員

② 調査内容

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）
又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

3 調査の実施時期

令和3年4月～7月

4 調査の実施状況

		調査対象児童生徒数 (A)	実施児童生徒数 (B)	実施率 (B/A)
小学校	3年生	2,780	2,754	99.1%
	4年生	2,933	2,875	98.0%
	5年生	3,033	2,969	97.9%
	6年生	2,918	2,836	97.2%
中学校	1年生	2,908	2,738	94.2%
	2年生	3,031	2,790	92.1%
	3年生	3,072	2,762	89.9%

●調査結果に関する注意事項と説明

- ①本調査の集計・分析において、実技調査、質問紙調査の回答の精査を行い、一部のデータ（実技調査の上限値・下限値からはみ出たデータなど）は集計・分析の対象外としている。
- ②本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、標準偏差などの情報と併せて総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
- ③実技調査と質問紙調査のクロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものでないことに留意する必要がある。
- ④資料に記載している数値は、元の数値を四捨五入して示している。
 小数第2位で示している数値 → 元の数値の小数第3位を四捨五入
 小数第1位で示している数値 → 元の数値の小数第2位を四捨五入
 (例：小学校4年生男子の体力合計点 元の数値「47.8743…」
 → 47.87 (小数第3位を四捨五入)、47.9 (小数第2位を四捨五入))
- ⑤集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ⑥本調査は平成27年度より実施している。

用語	解説
標本数	・ 平均値、標準偏差を算出した人数。
平均値	・ 調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・ 調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・ 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/(標本数－1)、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
体力合計点	・ 実技テスト項目における得点の合計
1週間の総運動時間	・ 各曜日の運動時間を調査していないため、欄外の算出方法にて求めた。

●参考 1週間の総運動時間の算出方法

- ① 1週間の運動日数：「運動やスポーツをどのくらいしていますか」の回答を次のように換算
 (1. ほとんど毎日 (週3日以上) = 3日) (2. 時々 (週1～2日くらい) = 1日) (3. 時々 (月1～3日くらい) = 0.25日) (4. しない = 0日)
- ② 1回の運動時間：「運動やスポーツをするときは1日どのくらいの時間しますか」の回答を次のように換算
 (1. 30分よりすくない = 1分) (2. 30分以上1時間より少ない = 30分) (3. 1時間以上2時間より少ない = 60分) (4. 2時間以上 = 120分)
- ③ 1週間の総運動時間：1週間の運動日数① × 1回の運動時間②